

参考資料集の使い方

平成26年度厚生労働科学研究「診断群分類の
持続的な精緻化に基づく医療機能および医療資源必要量の
適正な評価のあり方に関する研究」報告書
付録の参考資料集の使い方

はじめに

この参考資料集には、DPC データ分析を効率よく行うためのノウハウやDPC 精度をよりよく理解するためのキーポイントがたくさん納められています。是非、これらを活用して、自分の病院や公開されている DPC データなどの分析を試みてほしいと思います。

この資料集には、

1. 平成 26 年度に研究班が開催した各種セミナーでの配付資料
2. 研究班で作成した平成 22～25 年度の DPC 病院厚生労働省公表データの分析ツール使用マニュアル
3. 別添 DVD-ROM
 - 本報告書 PDF ファイル(カラー版、白黒版)
 - セミナー配付資料とサンプルデータ
 - 分析用マスターデータ
 - 平成 22～25 年度の DPC 病院厚生労働省公表データ分析ツール

などが含まれています。添付の DVD-ROM には全ての資料が収録されていますので、院内などで自由にコピーして活用していただきたいと思います。

利用目的に応じたこの参考資料の使い方の例

目的に応じたこの研究報告書のデータの活用方法を次に記します。これを参考に、興味のあるテーマから初めていただければ良いと思います。もちろん、ここに書かれていることだけに制限されるものではありません。いろいろな形で、この報告書のデータが活用されることを願っています。

1. DPC 診断群分類と包括評価制度をより深く理解したい方

総括研究報告と分担研究報告を参考に、研究班セミナーの PDF 資料を見ていただければ、DPC 診断群分類の概要、現在の課題などが理解できるでしょう。セミナー配付資料の総論・コーディング編と付録 DVD-ROM 内の「04_DPC セミナー配布資料(元サイズ)」フォルダ内にセミナーでの配付資料が入っていますので、講義の内容を知ることができます。8月21日・22日の産業医大でのセミナーの内容が網羅的でわかりやすいと思います。

2. 院内などの DPC データを使った分析を試みたい方

DPC データを使った分析例は、分担研究報告書にたくさん含まれています。それらと研究班セミナーの PDF 資料を見ると、DPC データにはどのような情報が含まれているのか、どのような分析ができるのかが理解できると思います。セミナー配付資料の診療プロセス分析編、医療の質評価編、地域医療分析編は基礎知識を得るための参考となります。データ分析演習編で実際の分析がどのようなものかを理解してください。

実際の分析手法は、セミナーでの演習の資料を活用して学んでください。サンプルデータを含めて、付録 DVD-ROM 内の「04_DPC セミナー配布資料(元サイズ)」フォルダ内にセミナーでの配付資料を見ながら、ほぼ実際の演習と同じ事を学習することができます。8月21日・22日の産業医大のセミナーの演習の資料を活用してください。

実データを使って分析を行うときには、様々なマスターデータが必要になります。DPC の定義表、レセプト電算コードなどのマスターがないと、コードの意味を理解することができません。多くの場合は、自分でこのようなマスターを搜したら、作成したりする必要があります。この研究報告書の DVD-ROM にはそのようなマスターがあらかじめ用意されているので、手間のかかる準備をせずに分析を始めることができます。DVD-ROM の「05_研究班作成DPCデータ分析用マスター」フォルダ内には、レセプト電算コード、手術 K コード、化学療法、血液製剤などのマスターが入っていますので、これらを使って、データをわかりやすく加工することができます。

3. 厚生労働省の DPC 病院公表データを使って、地域医療分析をしてみたい方

厚生労働省は毎年 1 回 DPC 病院の傷病別の患者数や平均在院日数などを病院の実名入りで公表しています。この資料は、地域の急性期医療の実態を知り、自院の地域での役割や機能分担のあり方を考えていくために貴重な情報源となります。しかし、このデータは、エクセルの表形式で配布されているものの、集計や分析の取扱いが難しくなっています。そこで、研究班では、この公表されているデータを加工して、データベース化し、エクセルのピボットテーブルで簡単に地域の医療機関の患者数などを集計、可視化するツールを作成し、配布しています。

データは、付録 DVD-ROM の「06_研究班作成配布プログラムとデータ」フォルダの「平成 22～25 年度厚労省公表データ DPC 病院データベース(都道府県別)」フォルダ内に入っています。都道府県別のデータベースとして作られていて、病院別、傷病別、手術有無別などで簡単に集計、グラフ化することができます。

これらのデータを使って、地域医療を分析する方法は、セミナー配布資料の地域医療分析編とデータ分析演習編に解説があります。実際の分析手法は、セミナーでの演習の資料を活用して学んでください。サンプルデータを含めて、付録 DVD-ROM 内の「04_DPC セミナー配布資料(元サイズ)」フォルダ内にセミナーでの配布資料を見ながら、ほぼ実際の演習と同じ事を学習することができます。8 月 21 日・22 日の産業医大のセミナーの演習の資料を活用してください。

さらに、これらのデータをより詳細に分析したい場合は、Qlikview というソフトを使用する方法が紹介されています。8 月 21 日・22 日の産業医大でのセミナーにその資料がありますので、是非、活用してください。

4. より高度な地理情報 GIS 分析を行ってみたい方

平成 22 年度からは DPC データ様式 1 に患者住所の郵便番号が記録されるようになり、地理情報分析を行いやすくなっています。機能評価係数Ⅱに地域患者シェアなどが取り入れられ、地域における自院の役割を認識することは今後ますます重要になりそうです。自院で持っている患者住所情報などを DPC データにつなげることができれば、さらに詳細な地理情報 GIS 分析を行うことができます。

平成 23 年度の研究からは、郵便番号データの利活用の促進の観点から、特に GIS 分析の普及に力を入れています。GIS 分析は、インパクトがとても大きい分析結果を出せる強力な地域医療可視化ツールですが、分析ソフトが高いことがネックでした。そこで、研究班では、最近充実してきている無償の GIS 地理情報分析システムソフトを活用するためのセミナーを実施しています。それらの資料は 8 月 21 日・22 日の産

業医大の資料に含まれています。

5. 公開用の病院指標を作るための分析を行ってみたい方

今後、DPC 病院は自院のデータを集計、分析して、基本的な指標を公表することが求められています。実際に自院の DPC データからこれらの指標を作成することは、それほど難しいことではありません。これらの指標を作るための分析を行うことで、自院のデータの質の評価や、診療の課題などが見えてきます。セミナー配付資料のデータ分析演習編に解説があります。具体的な方法は、付録 DVD-ROM 内の「04_DPC セミナー配布資料(元サイズ)」フォルダ内にセミナーでの配付資料を見ながら、ほぼ実際の演習と同じ事を学習することができます。8 月 21 日・22 日の産業医大の資料が参考になると思います。

DPC 研究班開催
「DPC 制度の適正運用とDPC データ
活用促進のためのセミナー」
配付資料

平成 26年度に実施した DPC 研究班開催
「DPC 制度の適用と DPC データ活用促進のためのセミナー」一覧

日時	場所	会場	内容
6 月 21 日(土) 13:00～17:00	名古屋	名古屋大学医学部	講演
7 月 5 日(土) 13:00～17:30	仙台	東北大学医学部	講演
8 月 21 日(木)10:00-17:00 22 日(金)10:00-15:30	北九州	産業医科大学	講演および演習
9 月 20 日(土) 13:00～17:00	大阪	大阪市立総合医療センター	講演
11 月 1 日(土) 13:00～17:00	東京	国立病院機構本部	講演
11 月 29 日(土) 13:00～17:00	神戸	神戸大学医学部	講演
12 月 13 日(土) 13:00～17:00	沖縄	琉球大学医学部	講演
1 月 24 日(土) 13:00～17:00	札幌	北海道大学医学部	講演
2 月 28 日(土) 13:00～17:00	盛岡	岩手医科大学	講演
3 月 14 日(土) 13:00～17:00	高松	香川県立中央病院	講演

名古屋会場(6月15日)

時間	内容
13:00-13:50	研究班の今までの研究成果の紹介(伏見)
14:00-14:50	DPC データを利用した地域医療分析(石川)
15:00-15:50	DPC コーディングガイドと病院指標の公開(藤森)
16:00-16:50	DPC という物差しで計った今の医療, これからの医療(白鳥)

仙台会場(7月5日)

時間	内容
13:00-13:50	研究班の今までの研究成果の紹介(伏見)
14:00-14:45	DPC データを利用した地域医療分析(石川)
14:55-15:40	DPC コーディングガイドと病院指標の公開(藤森)
15:50-16:35	DPC データの経営戦略への応用(村松)
16:45-17:30	DPC データからみた地域と病院との関わり(岩渕)

北九州会場(8月21日、22日)

	大ホール	小ホール
8月21日(木)		
10:00-11:00	研究班の今までの研究成果の紹介 (伏見)	
11:15-12:15	病院指標/コーディング(藤森)	
13:30-14:30	DPC と医療の質(猪飼)	Qlickview の地図分析演習(岩渕)
14:45-15:45	DPC データを利用した臨床疫学研究(堀 口)	様式1演習(1)(村上)
16:00-17:00	DPC コーディング(阿南)	様式1演習(1)(村上)
8月22日(金)		
10:00-11:00	CCP マトリックス・臨床指標(池田)	BI ツール Tableau 入門(石川)
11:15-12:15	7桁郵便番号を使用した診療圏分析(石川)	様式1演習(2)(村松)
13:30-14:30	DPC データと医療マネジメント(松田)	BI ツール Tableau 入門(石川)
14:30-15:30	DPC データと医療マネジメント(実践報告) (産業医大)	様式1演習(2)(村松)

大阪会場(9月20日)

時間	内容
13:00-13:50	研究班の今までの研究成果の紹介(伏見)
14:00-14:50	DPC データベースを用いた分析の現状(堀口)
15:00-15:50	DPC と医療の質(猪飼)
16:00-16:50	DPC データと医療マネジメント(久保)

東京会場(11月1日)

時間	内容
13:00-13:45	研究班の今までの研究成果の紹介(伏見)
13:50-14:35	DPC コーディング(阿南)
14:40-15:25	DPC データベースを用いた分析の現状(堀口)
15:30-16:15	DPC と医療の質(猪飼)
16:20-17:10	DPC データと医療マネジメント(村松)

神戸会場(11月29日)

時間	内容
13:00-13:50	研究班の今までの研究成果の紹介(伏見)
14:00-14:20	病院指標/コーディング 1(藤森)
14:30-15:20	DPC データと医療マネジメント(村松)
15:30-16:20	DPC と医療の質(猪飼)
16:25-17:00	病院指標/コーディング 2(藤森)

沖縄会場(12月13日)

時間	内容
13:00-13:50	研究班の今までの研究成果の紹介(伏見)
14:00-14:50	DPC と医療の質(村松)
15:00-15:50	DPC データを利用した地域医療分析(石川)
16:00-16:30	Qlikview を活用した琉大病院の DPC 分析と経営改善の取組(國吉)

札幌会場(1月24日)

時間	内容
13:00-13:50	研究班の今までの研究成果の紹介(伏見)
14:00-14:50	DPC データと医療マネジメント(村松)
15:00-15:50	DPC と医療の質(猪飼)
16:00-16:50	データを活用した経営戦略(鈴木)

盛岡会場(2月28日)

時間	内容
13:00-13:45	研究班の今までの研究成果の紹介(伏見)
13:45-14:30	SQL SERVER 2012 EXPRESS&Access を用いた DPC データ分析環境構築(村松)
14:35-15:20	DPC データと医療マネジメント(大谷)
15:25-16:10	DPC データによる明日への提案(岩渕)
16:15-17:00	DPC データを利用した地域医療分析(石川)

高松会場(3月14日)

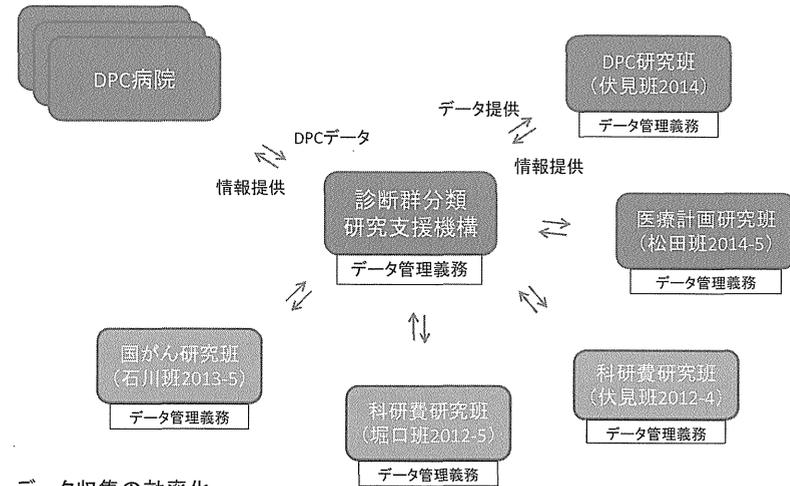
時間	内容
13:00-13:45	研究班の今までの研究成果の紹介(伏見)
13:50-14:35	DPC データと医療マネジメント(村松)
14:40-15:25	DPC と医療の質(猪飼)
15:30-16:15	データを活用した経営戦略(石川)
16:20-17:05	DPCと臨床疫学研究(康永)

DPC研究班のこれまでの研究

東京医科歯科大学大学院
医療政策学講座医療政策情報学分野
伏見清秀

2015年3月14日

一般社団法人 診断群分類研究支援機構を介した 研究班へのデータ提供について



データ収集の効率化

- 年度を越える通年のデータ収集
- データ提供管理の一元化

一般社団法人 診断群分類研究支援機構 設立の趣意

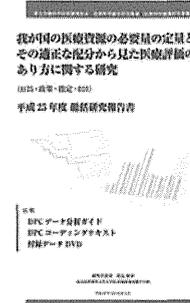
(英文名称: DPC Research Institute、略称: DPC研究支援機構)

- 我が国で診断群分類Diagnosis Procedure Combination(DPC)が開発され、急性期入院医療の包括評価に用いられるようになってから8年以上が経過し、DPCを用いた医療経営分析、診療の質の分析、地域医療分析等の手法が開発され、DPC医療情報データを活用する可能性が広がっている
- DPC医療情報データの取り扱いには、専門的な知識と技術の蓄積が必要であり、継続的にDPCデータの取り扱いを支援する組織が必要
- 診断群分類に関する医療情報の健全な利用を促進し、関連する研究等の活動について安全・円滑な実施を支援することを目的として、「一般社団法人診断群分類研究支援機構」を設立
- 本法人は、データ収集、分析用データベース作成支援、分析用データベース提供、データ分析に関する支援、データ提供施設に対する支援などの業務を行い、診断群分類に関する医療情報の利用の促進を図る

代表理事 松田晋哉
理事 伏見清秀
監事 西岡清

平成25年度の研究報告

「我が国の医療資源の必要量の定量とその適正な配分から見た医療評価のあり方に関する研究」(H25-政策-指定-010)



○研究班セミナーの開催

日時	場所	内容
2013年6月15日(土)	青森	講演・分析演習
2013年8月8日、9日	北九州	講演・演習
2013年10月5日(土)	山形	講演
2013年11月30日(土)	神戸	講演
2013年12月10日(火)	東京	講演
2013年12月14日(土)	高知	講演
2014年1月18日(土)	大阪	講演
2014年2月22日(土)	沖縄	講演
2014年3月1日(土)	盛岡	講演

○データ資料の配付

- セミナー等の配付資料
- 厚労省公表データ分析ツール
- 各種分析用マスタ

平成26年度の予定

○研究班セミナーの開催

日時	場所	内容
2014年6月21日(土)	名古屋	講演
2014年7月5日(土)	仙台	講演
2014年8月21日、22日	北九州	講演・演習
2014年9月20日(土)	大阪	講演
2014年11月1日(土)	東京	講演
2014年11月29日(土)	神戸	講演・分析演習
2014年12月13日(土)	沖縄	講演
2015年1月24日(土)	札幌	講演
2015年2月28日(土)	盛岡	講演
2015年3月14日(土)	高松	講演

○データ資料の配付

- ・ マスター類等

平成25年度総括研究報告書別添DVD収載内容

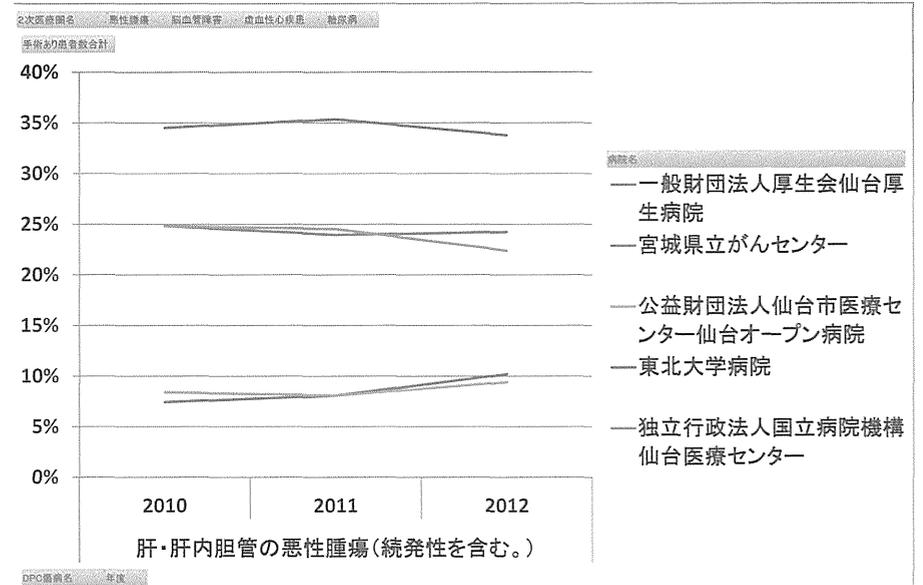
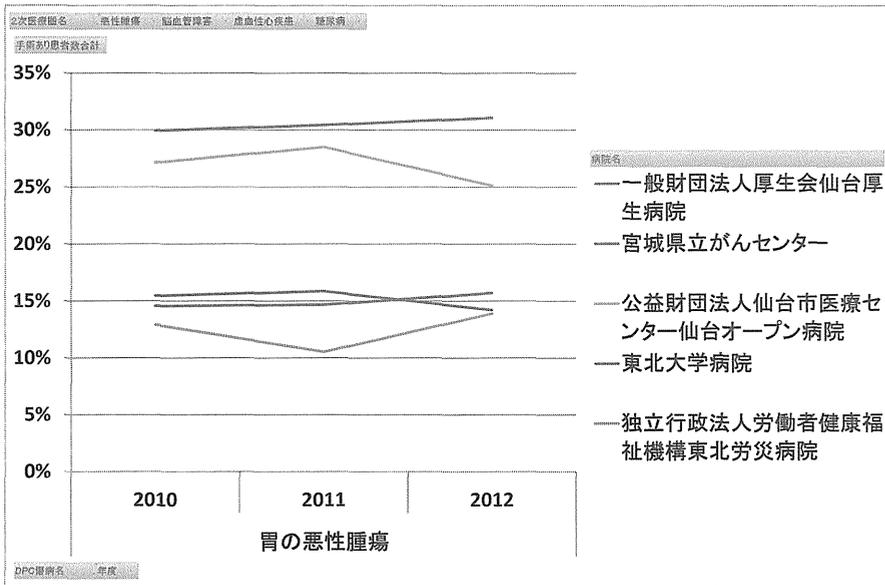
1. 本報告書PDF版(白黒、フルカラー)
2. 研究報告書追加資料
 - ①多軸的なCCP概念に基づく診断群分類:スコア化による構築
 - ②多軸的なCCP概念に基づく診断群分類:スコア化による構築(別冊)
 - ③DPC提供データの安全性と活用等についての検討
 - ④DPC/PDPS 傷病名コーディングテキスト(案)
 - ⑤平成26年度DPC-PDPS分類ポートフォリオ
 - ⑥平成23年度保険局DPC調査に基づく診療圏の人口推計ポートフォリオ
 - ⑦7桁郵便番号を利用した運転時間データベース
3. DPC研究班「DPC制度の適正運用とDPCデータ活用促進のためのセミナー」配付資料
4. 研究班作成DPCデータ分析用マスターファイル一式
 - ①平成25年度レセプト電算コードマスター
 - ②平成25年度手術Kコードマスター
 - ③平成25年度化学療法マスター
 - ④平成25年度血液製剤マスター
5. 研究班作成プログラムとデータ
 - ①平成22年度～24年度DPC病院データベースと分析ツール

平成25年度研究報告書 付録参考資料集の使い方(1)

- DPC診断群分類と包括評価制度をより深く理解したい方
 - 研究班セミナーのPDF資料を見ていただければ、DPC診断群分類の概要、現在の課題などが理解できます。
 - 付録DVD-ROM内にセミナーでの配付資料
 - 8月8日・9日の産業医大大ホールでのセミナーの内容が網羅的
 - 平成25年度報告書p257-p310

平成25年度研究報告書 付録参考資料集の使い方(2)

- 院内などのDPCデータを使った分析を試みたい方
 - 研究報告書とセミナー資料から、DPCデータに含まれているデータとその分析例を学んでください。
 - 8月8日・9日の産業医大小ホール演習
 - 分析に必要なマスターデータも活用できます。
 - レセプト電算コード、手術Kコード、化学療法、血液製剤など
 - 平成25年度報告書p337-p394
- 公開用の病院指標を作るための分析を行ってみたい方
 - 自院のデータを集計、分析して、基本的な指標を公表
 - 8月8日・9日の産業医大
 - 平成25年度報告書p311-p336



分析方法: 項目の設定

次のボックス間でフィールドをドラッグしてください
 レポート フィールド 列ラベル

2次医療圏名	病院名
悪性腫瘍	
脳血管障害	
虚血性心疾患	
糖尿病	
DPC傷病名...	

行ラベル Σ 値

DPC傷病名	手術あり患者...
年度	

レアウトの更新を保... 更新

分析方法: 値の設定

値フィールドの設定
 ソース名: 手術あり患者数
 名前指定(O): 手術あり患者数合計

集計方法: 計算の種類

値フィールドの集計(S)
 集計に使用する計算の種類を選択してください
 選択したフィールドのデータ

- 集計
- データの個数
- 平均
- 最大値
- 最小値
- 積
- 積の個数
- 標準偏差
- 標準偏差
- 標準分散
- 分散

表示形式(M) OK キャンセル

値フィールドの設定
 ソース名: 手術あり患者数
 名前指定(O): 手術あり患者数合計

集計方法: 計算の種類

計算の種類(S)
 複数集計に対する比率

基準フィールド(F)
 入院番号
 病室名
 診療科コード
 診療科名称
 2次医療圏コード
 2次医療圏名
 NDCコード
 NDC名称
 DPC傷病名コード

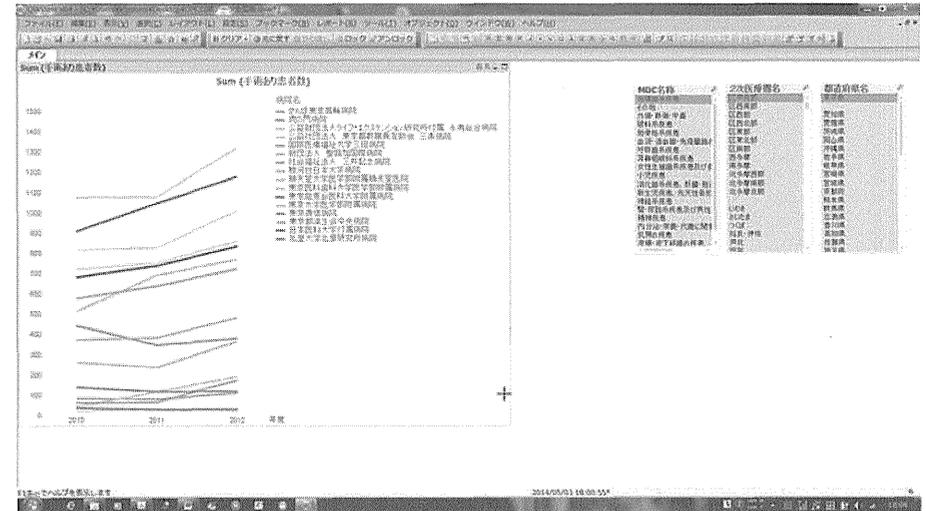
基準アイテム(I)

表示形式(M) OK キャンセル

分析方法：表示病院数の設定

列ラベル		
愛知県がんセンター中央病院		
名古屋市立大学病院		
名古屋大学医学部附属病院		
名古屋第一赤十字		
コピー(C)		19.99%
セルの書式設定(F)...		20.54%
更新(R)		21.29%
並べ替え(S)		18.22%
並べ替え(S)		19.99%
フィルター(F)	✖ "病院名" からフィルターをクリア(C)	
✓ "病院名" の小計(B)	✓ 選択した項目のみを保持(K)	
展開/折りたたみ(E)	✓ 選択した項目を表示しない(H)	
グループ化(G)...	トッペン(T)...	
グループ解除(U)...	ラベルフィルター(L)...	
移動(M)	値フィルター(S)...	
✕ "病院名" の削除(V)		
フィールドの設定(N)...		
ピボットテーブル オプション(O)...		
フィールドリストを表示しない(D)		

DPC公表データのQlikview®での分析



- 病院別年次変化のグラフが完成。

平成25年度研究報告書 付録参考資料集の使い方(4)

- 高度な地理情報GIS分析を行ってみたい方
 - 地域における自院の役割を認識することはますます重要
 - 無償のGIS地理情報分析システムソフトを活用するためのセミナー
 - 8月8日・9日の産業医大
 - 平成25年度報告書p513-530
 - 無償GIS分析ソフトQGISの基本的な使用方法、地理情報関連のマスターデータの入手方法

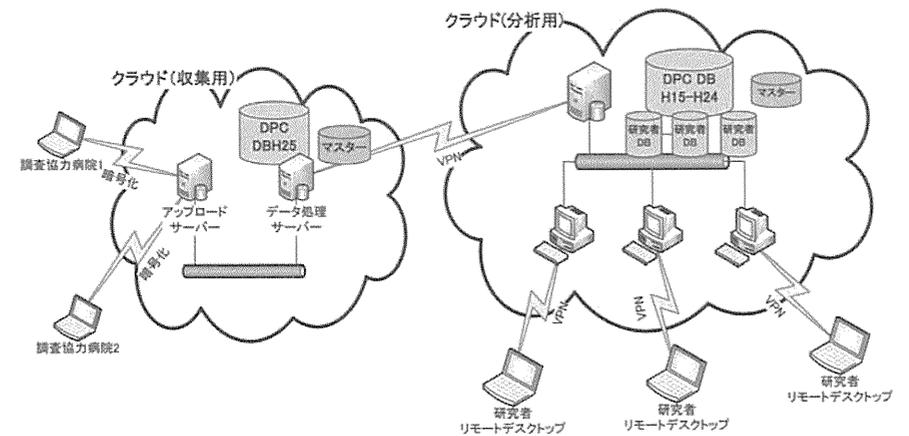
平成26年度以降のDPC関連研究の方向性

- 診断群分類の持続的な精緻化に基づく医療機能および医療資源必要量の適正な評価のあり方に関する研究(H26-政策-指定-O11)
 - ① 医療資源必要量を適正に反映する重症度を考慮した診断群分類の精緻化と急性期、回復期、外来診療を含む評価手法の開発
 - ② 地域医療を含む医療機能と医療の質の評価につながるDPC/PDPSデータ活用手法の開発

H26DPC改訂後の課題

- 調整係数のH30までの段階的な廃止
 - 診断群分類の更なる精緻化が必要
 - CCPマトリックス導入の検討
- 病院群のあり方と機能評価係数Ⅱの充実化
 - 医療の可視化を評価する「病院指標」の検討
- DPCデータ精度の確保
 - 正確な機能評価とCCPマトリックス導入に必須
- 医療の質および地域医療の評価手法の開発
 - より良い急性期医療の確保のために必要

DPC研究班データ収集・分析システム



診調組 D-2 参考2
26.11.26

コーディングの質の確保

ミスコーディング事例

あさぎり病院

1. コーディングの不一致率等

施設ID	施設コード	集計用分類	施設名	不一致率	マイナス割合	プラス割合
593	282003487	平成20年度DPC参加病院	あさぎり病院	3.7%	1.2%	98.8%

※「請求DPCコードの請求額」-「本来選択すべきと考えられるDPCコードの請求額」が負のものが「マイナス割合」、正のものが「プラス割合」

2. コーディングの不一致の具体例

①

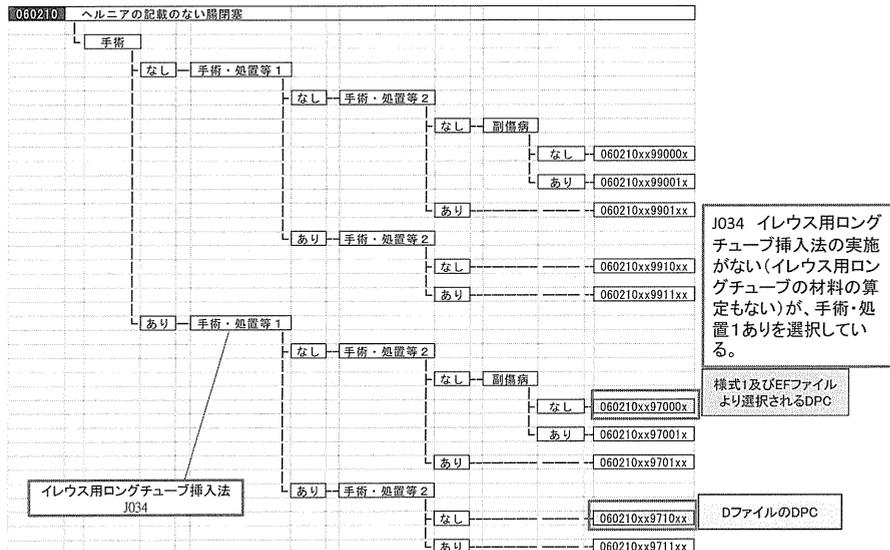
様式1及びEFファイルより選択されるDPC	DPC名称	日数I	日数II	日数III	点数I	点数II	点数III	差
020200xx9714xx	黄斑、後極変性 手術あり 手術・処置等1あり 手術・処置等2 4あり	3	6	12	4457	3295	2801	
DファイルのDPC	DPC名称	日数I	日数II	日数III	点数I	点数II	点数III	
020200xx9704xx	黄斑、後極変性 手術あり 手術・処置等1なし 手術・処置等2 4あり	3	6	10	6799	1710	1453	

②

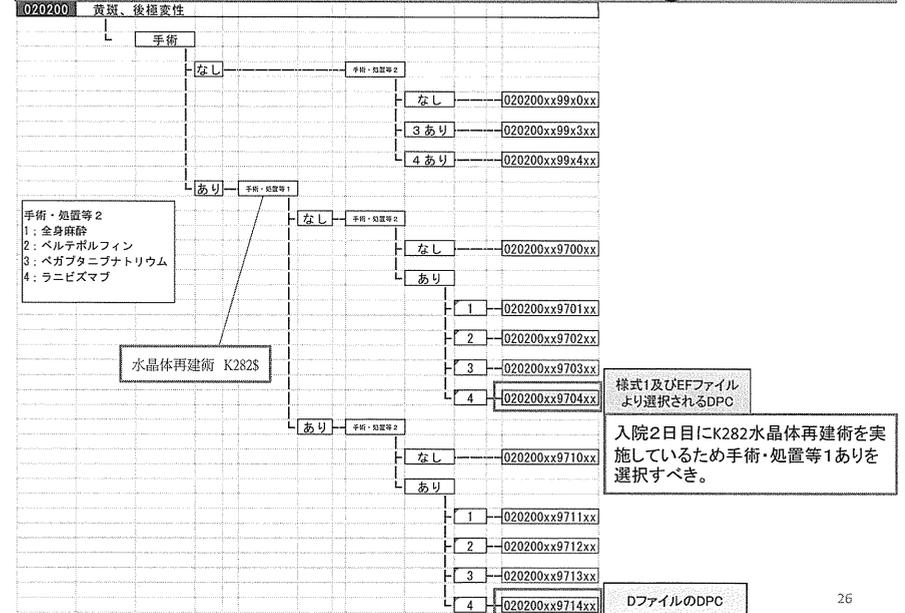
様式1及びEFファイルより選択されるDPC	DPC名称	日数I	日数II	日数III	点数I	点数II	点数III	差
060210xx97000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術あり 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	8	16	31	2740	2026	1722	
DファイルのDPC	DPC名称	日数I	日数II	日数III	点数I	点数II	点数III	
060210xx9710xx	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術あり 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	12	24	44	3023	2236	1901	

143

ミスコーディングの具体例②



ミスコーディングの具体例①



静岡徳洲会病院

1. コーディングの不一致率等

施設ID	施設コード	集計用分類	施設名	不一致率	マイナス割合	プラス割合
1413	224210250	平成23年度DPC参加病院	静岡徳洲会病院	2.7%	15.5%	84.5%

※「請求DPCコードの請求額」-「本来選択すべきと考えられるDPCコードの請求額」が負のものが「マイナス割合」、正のものが「プラス割合」

2. コーディングの不一致の具体例

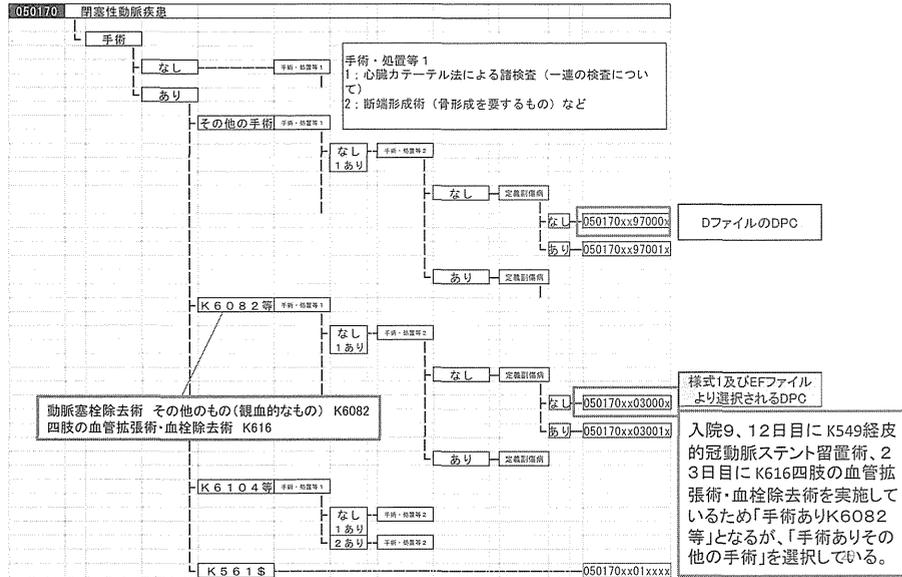
③

様式1及びEFファイルより選択されるDPC	DPC名称	日数I	日数II	日数III	点数I	点数II	点数III	差
050170xx03000x	閉塞性動脈疾患 動脈塞栓除去術 その他のもの(親血的なもの)等 手術・処置等1なし、1あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	3	6	14	2709	2004	1703	
DファイルのDPC	DPC名称	日数I	日数II	日数III	点数I	点数II	点数III	
050170xx97000x	閉塞性動脈疾患 その他の手術あり 手術・処置等1なし、1あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	8	16	39	2739	2024	1721	

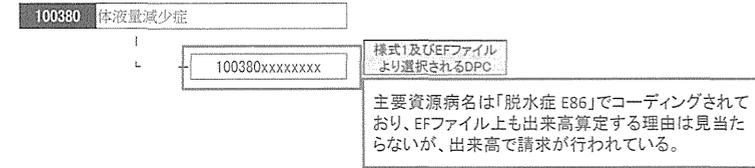
④

様式1及びEFファイルより選択されるDPC	DPC名称	日数I	日数II	日数III	点数I	点数II	点数III	差額
100380xxxxxxx	体液量減少症	3	8	23	2634	2084	1771	
DファイルのDPC	DPC名称	日数I	日数II	日数III	点数I	点数II	点数III	
-	-	-	-	-	-	-	-	

ミスコーディングの具体例③



ミスコーディングの具体例④



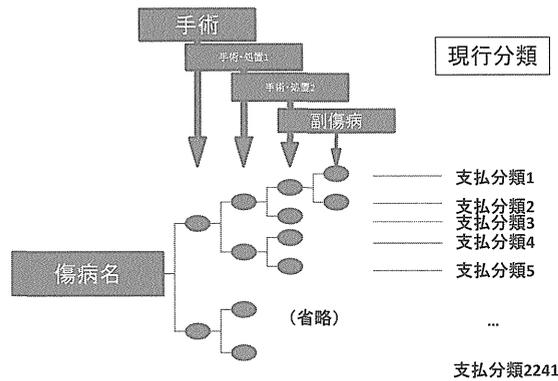
144

重症度を考慮した評価手法 (CCP Matrix) について

重症度を考慮した評価手法(CCPマトリックス)

- 平成30年度の調整係数廃止に向け、より正確に医療資源必要量を診療報酬支払いに反映させることが必要。
- 例えば、病院毎の肺炎患者の病態・重症度の違いをDPC分類では十分適切に評価されていない可能性。
- DPC分類の更なる精緻化が必要だが、分類数は増やせない。
- 「重症度を考慮した評価手法」CCP(Comorbidity Complication Procedure)マトリックスの設計手法を検討

樹形図で表された現行のDPC分類の課題



- 分岐条件が枝わかれのどの階層、位置にあるかで分類の作成方法が制限
- 支払分類数の制限から条件設定が見送られる

CCPマトリックスの考え方(1)

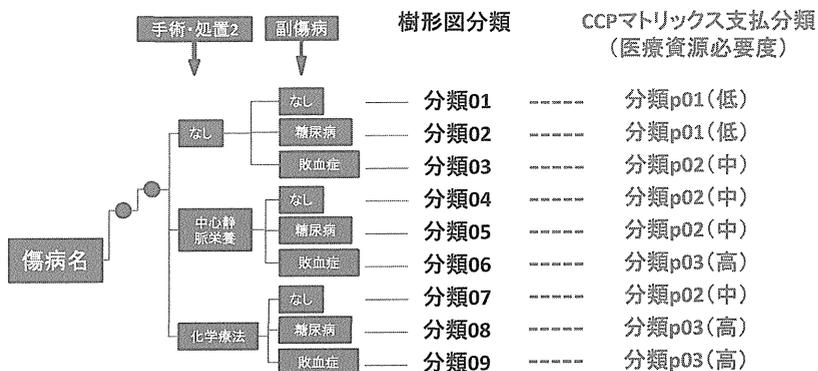
- 手術処置と副傷病等の組み合わせに基づく医療資源必要度分類である。
- 枝分かれの構造にとられずに医療資源必要度が類似したグループをまとめることができる。

		副傷病等		
		なし	糖尿病	敗血症
手術・処置等2	なし	低	低	中
	中心静脈栄養	中	中	高
	化学療法	中	高	高

- この例では9区分を3段階に圧縮して分類数を減らすことが可能
- このような2次元の組み合わせに限らず、多次元で集約が可能となる

CCPマトリックス分類の考え方(2)

- CCPマトリックスは、分岐条件に基づいて全ての分類を樹形図に書き下した樹形図分類と、医療資源必要度に応じた支払分類との対応表を作成することと同じ意味である。



部分的試行について

- CCPマトリックスの有用性を確認するために、比較的症例数が多く、現行の分類では課題のある部分を先行的に検討するのはどうか。
- 研究班で検討した肺炎、糖尿病、心不全、脳血管障害、慢性関節リウマチ、先天性心疾患などを検討するのはどうか。

CCPマトリックス作成手順について

CCPマトリックス作成作業手順案

1. 臨床的観点から定義表を整備
 - 現在、記載されていない臨床情報等の追加も検討
2. 医療資源必要度の観点も含めて項目を集約、優先順位を設定して分岐条件を整理する
 - 項目が多い場合は、多変量解析等を用いて分析
3. 定義表情報から素樹形図を作成し、医療資源必要度の観点から対応表によって分類を集約してCCPマトリックスを作成
 - 隣接する分岐以外の集約を検討するため、定義表情報をそのまま反映した「素樹形図」を使う
 - 医療資源必要度の類似性で分類を集約する

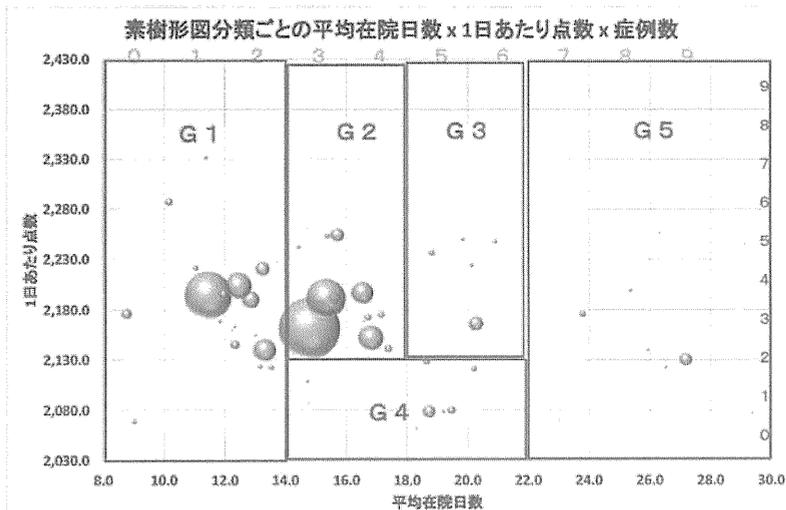
CCPマトリックス試行例-糖尿病(1)

1. 定義表の整備と2. 分岐条件の整理

- 多変量解析等により、以下の項目が医療資源消費に影響していることが明らかとなった。

項目	内容
傷病名	医療資源病名の末梢循環合併症と多発合併症 (ICD10コード4桁目が5または7)
手術	手術の有無
手術・処置等1	
手術・処置等2	インスリン使用の有無
合併症	特定の合併症の有無 (認知症、閉塞性動脈疾患、胃の悪性腫瘍、肝硬変、膝関節症、慢性腎不全)
重症度	年齢85歳以上

146



CCPグループの視点からの色分け(上段:元データ、下段:集約案)

合計 / Group		proc2	age	CC										
		0	1	1	1	2	2	1	0	1	0	1	0	1
ope	DPC6	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	DPC5	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	10006	1	1	1	1	2	1	2	3	3	1	3		
	10007	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10008	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10009	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10010	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10011	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10012	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10013	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10014	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10015	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10016	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10017	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10018	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10019	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10020	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10021	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10022	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10023	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10024	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10025	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10026	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10027	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			
	10028	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2			